

科目ナンバー： 研究・CNS：MA1043／助産：MmA1043

授業コード： 6610000400

講義科目名称： 看護政策論

英文科目名称： Nursing Policy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1・2学年	2単位	選択 CNS選択必修 助産師必修
担当教員			
◎高林知佳子、室岡真樹、井部俊子、長谷川洋子、山崎理			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎高林 知佳子 室岡 真樹 井部 俊子 長谷川 洋子 山崎 理	【所属】 新潟県立看護大学 新潟県福祉保健部医師・看護職員確保対策課 新潟県立看護大学客員教授 / 新潟県保健福祉部参与 厚生労働省保険局高齢者医療課 新潟県十日町地域振興局健康福祉部	【研究室】 304	【メールアドレス】 takabaya@niigata-cn.ac.jp
	【大学の科目区分】 基盤看護分野			
		【DP1】	【DP2】	【DP3】
	研究			○
	CNS	○		○
	助産		◎	○

到達目標	1. 看護を取り巻く保健医療福祉の政策課題の分析と政策決定のプロセスを説明できる。 2. 看護職の立場で政策形成に関与することの意義を説明できる。
------	--

授業概要	看護政策は、安全で良質な保健医療福祉サービスを提供するところの根幹をなし、看護の実践現場に多大な影響を及ぼすとともに、看護の課題解決にも直結している。また、保健医療福祉の政策課題は、多方面と複合的に関連しているため、政策立案や制度設計には総合的な判断によるアプローチが必要である。保健医療福祉政策の事例を通して政策プロセスや課題を総合的に検証しながら、看護職者として政策形成に関与する意義やそのあり方について学ぶ。
------	---

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義（遠隔） 学修課題：看護政策の概要 学修内容：ガイダンス、看護政策の概要 事前学修：看護政策が生じる背景要因を、自分の経験と関連づけて整理する。 事後学修：政策過程のどの段階に看護職が介入可能か、自分の考えを短くまとめる。 備考：高林</p> <p>2 授業内容 授業形態：講義（対面） 学修課題：都道府県における看護政策の課題と取組 学修内容：・都道府県における看護政策の課題（新潟県の例） ・都道府県における看護人材の量的・質的確保の取組 事前学修：新潟県の看護人材に関する統計を1つ選び、課題を考える。 事後学修：都道府県が行う政策介入の限界と可能性を整理する。 備考：室岡</p> <p>3 授業内容 授業形態：演習（遠隔） 学修課題：都道府県における看護政策の課題を踏まえた新たな政策案の提言 学修内容：看護政策の現状と課題を踏まえた政策案のプレゼンテーションとディスカッション 事前学修：政策案の対象と効果を簡潔に整理する。 事後学修：議論を踏まえ、政策案の妥当性を支える根拠を再検討する。 備考：室岡</p> <p>4 授業内容 授業形態：講義（対面） 学修課題：看護管理の視点から捉える保健医療福祉政策1 学修内容：看護管理の基本概念、看護管理と政策との関連性 事前学修：看護管理の基本概念を事前に確認する。 事後学修：管理的視点が政策に与える影響を、自施設の課題と結びつけて整理する。 備考：井部</p> <p>5 授業内容 授業形態：講義（対面） 学修課題：看護管理の視点から捉える保健医療福祉政策2</p>
------	---

6	<p>学修内容：人材育成と教育        事前学修：看護人材育成における全国的課題を1つ抽出し、その背景を考える。        事後学修：講義内容から、自施設・自地域で応用可能な政策視点を整理する。        備考：井部</p> <p>授業内容        授業形態：演習（対面）        学修課題：看護管理の視点から捉えた新たな政策案の提言1        学修内容：看護管理の視点から捉えた新たな政策案のプレゼンテーションとディスカッション1        事前学修：政策案の対象と効果を簡潔に整理する。        事後学修：他者の政策案から学んだ「説得力を高める要素」を整理する。        備考：井部</p>
7	<p>授業内容        授業形態：演習（対面）        学修課題：看護管理の視点から捉えた新たな政策案の提言2        学修内容：看護管理の視点から捉えた新たな政策案のプレゼンテーションとディスカッション2        事前学修：政策案の実現可能性（制度・人材・財源）を考える。        事後学修：議論を通じて、自分の案の改善点を整理する。        備考：井部</p>
8	<p>授業内容        授業形態：講義（遠隔）        学修課題：厚生労働省における看護政策の制度化のプロセス1        学修内容：        ・厚生労働省の組織        ・社会保障のしくみと現状        ・厚生労働省における看護技官の仕事        事前学修：厚労省組織の中で看護政策が扱われる部署を調べ、役割を整理する。        事後学修：看護技官の専門性が政策にどう反映されるか整理する。        備考：長谷川</p>
9	<p>授業内容        授業形態：講義（遠隔）        学修課題：厚生労働省における看護政策の制度化のプロセス2        学修内容：        ・厚生労働省における政策立案        ・看護政策における最近の動向と看護の役割        事前学修：最近の看護政策を1つ選び、その背景にある社会的状況を考える。        事後学修：看護職が政策立案に関与する際の倫理的留意点を整理する。        備考：長谷川</p>
10	<p>授業内容        授業形態：講義（遠隔）        学修課題：厚生労働省における看護政策の制度化のプロセス3        学修内容：特定行為に係る看護師の研修制度創設後の状況と見直し        事前学修：特定行為研修制度について概要を確認する。        事後学修：制度見直しが必要となる要因を授業内容に基づき整理する。        備考：長谷川</p>
11	<p>授業内容        授業形態：演習（遠隔）        学修課題：厚生労働省における看護政策の制度化のプロセス4        学修内容：発表「看護職の立場で政策形成に関与することの意義」        事前学修：自分の発表内容を要約しておく。        事後学修：発表・討議を通して、看護職が政策形成に参加する際の課題を整理する。        備考：長谷川</p>
12	<p>授業内容        授業形態：講義（遠隔）        学修課題：地域医療構想        学修内容：医療再編、病院間の連携・機能分担等        事前学修：地域医療構想の基本的な内容を調べる。        事後学修：地域医療構想が地域医療に及ぼす影響を整理する。        備考：山崎</p>
13	<p>授業内容        授業形態：講義（遠隔）        学修課題：地域包括ケアシステム        学修内容：日本・新潟県・上越地域における地域包括ケアシステムの現状と課題        事前学修：身近な地域包括ケアの事例を1つ挙げ、課題を考える。        事後学修：新潟県または上越地域における地域包括ケアの課題を整理する。        備考：山崎</p>
14	<p>授業内容        授業形態：演習（遠隔）        学修課題：地域医療構想における現状と課題に基づく新たな政策案の提言        学修内容：地域医療構想における現状と課題に基づく新たな政策案のプレゼンテーションとディスカッション        事前学修：自分の政策案の根拠データを再確認する。        事後学修：議論をふまえ、自分の政策論を修正する。        備考：山崎</p>
15	<p>授業内容        授業形態：演習（遠隔）        学修課題：地域包括ケアシステムにおける現状と課題に基づく新たな政策案の提言        学修内容：地域包括ケアシステムにおける現状と課題に基づく新たな政策案のプレゼンテーションとディスカッション        事前学修：自分の政策案のポイントを整理する。        事後学修：政策案の持続可能性を高めるための改善点を整理する。        備考：山崎</p>

事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標1,2の達成度は、担当教員5名がそれぞれの授業で、討論への参加状況やプレゼンテーションの内容を高林10点、室岡15点、井部・長谷川・山崎各25点満点で評価し、その合計点を算出することで総合的に評価する。
テキスト	随時紹介します。
参考図書・資料等	随時紹介します。
受講、課題、資料配布等のルール	プレゼンテーションを行う場合、授業前に人数分をコピーする。 基本的には対面授業とする。
教員からのメッセージ	政策や制度は刻々と動いている。タイムリーに動向や情報を獲得・分析することにより、柔軟な視点を持ち、主体的に活動や課題対応できるような力を獲得してほしい。
オフィスアワー	主担当の高林が窓口。在室時、可能な限り対応します（事前にメール等での予約が確実）。